

## 平成20年度第8回 下山地域会議 会議録

【日時】平成21年1月21日(水) 19:00~21:15

【場所】下山交流館第11会議室

【出席者】委員 16名出席

事務局 加藤支所長 原田 西山 川合 加藤

【次第】1 あいさつ

2 会議録署名委員指名

3 前回会議録の承認

4 協議事項

(1) 来年度事業計画について

(2) 分科会の振り返りと今後の進め方について

(3) 地域会議の振り返りと今後の進め方について

5 今後の予定

---

【内容】

1 あいさつ

2 会議録署名委員指名

原田正昭委員を指名

3 前回会議録の承認

全委員承認

4 協議事項

(1) 来年度事業計画について

(事務局)地域予算提案事業として2つの事業が事業化されました。最初に「子育て支援環境事業」であります。市内及び地区内で行われている子育て支援事業や、地区の中にある遊べる場についてもっと利用促進を図っていこうということでマップを作成して配布していきたいと考えています。また、それともう1点、市のホームページとか支所だよりを活用して、利用の促進を図っていく考えであります。

次に「食による地域活性化事業」であります。下山の良さを「食」を通じた取組みで地域住民が再確認してもらおうということで、料理コンテストを開催します。もう一つは、安心安全な農作についての勉強会や研修会を開催したり、実習研修を行っていくということであります。食についての事業については、いずれも単年度事業ではなく、継続して実施していきたいと考えています。「食」だけでなく“みりんプロジェクト“ということで、住んでみりんということで、「住」からも事業化できるものがあるのではないかと考えています。

この2つの事業を実施していくのに、地域会議委員としてどのように関わっていくかを検討していただきたいと思います。

(会長)4月からスタートが切れるように地域会議委員がどのように関わっていくか協議いただき

たいと思います。

(委員) 今まで話をしてきた流れからいくと、分科会を中心に進めていったらと思います。

(委員) 基本的には、今までの分科会が中心でいいと思いますが、半分に分ける必要はなく必要に応じた人数で分けたらと思います。

(委員) 基本的には、提案した分科会が担うべきだと思います。それに、自分も力を貸してもいいという委員がいたら加わればいいと思います。

(会長) 意見を取りまとめますと、基本的には分科会を中心に進めていくということであり、そして、その他の委員さんは、委員の自主性により係わっていただくということであり、

## (2) 分科会の振り返りと今後の進め方について

(事務局) 分科会を今後どうするかということをお話し合っただきたいと思います。来年度は今年度と同じように事業計画として作成できるものについては事業計画を作成していきます。それとは別に課題解決の方法として、わくわく事業も課題解決の方法でありますし、提言という方法もあります。事業計画のみが、まちづくりの終止形ではありません。任期も来年の3月で終わりますので、今後分科会を進めるにあたって、今年度と同じように秋までに事業計画をつくる課題が考えられるのか。また、現状の分科会でいいのかなどを検討いただきたいと思います。

### 自分の意見をまとめ分科会ごとに検討

(事務局) 各分科会での検討結果を発表いただきたいと思います。

(みりん分科会) 最初に下山の物を食べてみりん、住んでみりん、下山の人になってみりんという3本柱で始めました。最初は「食」の部分が事業化となり、来年度は定住について取組もうと考えています。そこで、下山の人になってみりんということで動いていきたいと考えています。

(農林業分科会) 今年度は事業計画ができませんでしたが、これまで同様農林業の活性化のために継続していく考えであります。今後は、農協・市の農政課と連携をとり、地元の農業関係者から、リーダーを発掘していきたいと考えています。そのためには、何をどうするかを提言していきたいと思っています。また、みりんプロジェクトとのタイアップで安心安全な食材の供給について検討できればしていきたいと考えています。

(子ども分科会) 支所のオープンスペースの問題と、皆が集える広場について継続的に検討していきたいと考えています。実現するためには、地域の人との関わりを持たないといけないと思います。それで、地域会議としてどのように活動していったらいいかということをお話しました。

## (3) 地域会議の振り返りと今後の進め方について

(事務局) どの分科会も提言なり事業化ということで最終形は異なるかもしれませんが分科会を継続していくということでした。今からは、今後の地域会議の進め方について考えていきます。委員の皆さんから意見をいただきたいと思います。

(委員) 考えた事を実現するためには、区長会や他の団体との意見交換をしたり、いろいろな情報収集ができるようにしたいと思います。

(委員) テーマを絞って議論する必要があると思います。分科会中心に議論し、全体会議は3ヶ月に1回程度か不定期でいいと思います。

(委員) 各地区に出向いて懇談会を開催して意見を聞いていきたいと思っています。

- (委員) 特別な機会を作るのではなく井戸端会議的な普段の会話の中から意見を吸い上げたいと思います。そして、高齢者の力を生かす方法はないかと思います。
- (委員) 今問題になっていることについて関係者との話し合いの場をつくるとともに、現場を委員で見て回る機会があっても良いのではないかと思います。
- (委員) 月1回の会議ではなく、必要に応じて話し合いの場を増やさないと理解しづらいし良い方向が見出せないと思います。
- (委員) 情報収集の仕方ですが、自治区・コミュニティ会議と連携をとり情報収集することが一番情報が集まるような気がします。問題点をピックアップして、その問題にかかわる人や団体に働きかけて最終的には地域全体として考えるようにしていかないと前に進まないような気がします。
- (委員) 無駄話も大事だと思います。無駄話は田舎の会議の出発点であり、それをしないとうまく意思疎通ができないと思います。見える化という意味をきちんと理解して話をしないといけないと思います。そして、見える化は関係する人が、課題と解決方法を共有することだと思います。
- (委員) 1年を通してとても忙しかったです。会議にステップがいくつもあり全力で上がっていくような形であったので、じっくり話し合う時間がほしいと思いました。各地区の合併の6町村の地域会議の情報も参考になると思いました。地域会議の検討事項が自治区に下りてないので、地区区長会で情報提供をいただき、各自治区の住民の声を地域会議に持ち上げていけるような体制になるといいと思いました。
- (事務局) 皆さんの意見を事務局でまとめ、次回の会議前に配布させていただきます。